

有限会社 得能製畳工業

[業種] 畳製造業

事業
計画名

縫着不要な熱圧着式畳製造技術の導入
による多用途薄型置き畳の開発

- ◆代表者名 代表取締役社長 得能 敏昭
- ◆設立年月日 平成4年5月22日
- ◆所在地 〒929-0341 石川県河北郡津幡町横浜ろ70-16
- ◆TEL 076-289-2082
- ◆FAX 076-289-5544
- ◆URL <http://tokuno-tatami.com>
- ◆E-mail info@tokuno-tatami.com
- ◆従業員数 4人
- ◆資本金額 300万円



畳表折曲機/スライダー

事業に取り組んだ経緯・背景

ライフスタイルの洋風化への関心が高まり、若年層は中高年層に比べて畳の保有意識が低く、これが将来的な需要に影響すると予測される。そのため、今後は若年層も含めた需要喚起が必要であり、当社として従来の国産畳表のみならず、スウェードなど新素材を用いた多用途薄型置き畳の開発・提供によって市場環境の変化に対応した取り組みを実施することとなった。

事業内容

1. 設備導入による生産性向上

「畳用圧着製造装置ホットプレス機」および「畳表折曲機」を導入。新技術である熱圧着方式の導入により、製造工程における框縫着や返し縫着のリードタイムが一畳あたり13分間短縮できることで生産性の向上とともに、畳床の薄型化によるコスト削減が図られた。また、経年劣化によってホチキス針が飛び出すリスクもなく、安心・安全な製品の提供が可能となった。

2. ITの活用

「5日で5,000枚の約束。～災害時に、全国の畳店から避難所に新しい畳を無料で届けるプロジェクト～」の活動等について、自社ホームページおよびSNSで広く訴求し、畳離れの進む若年層を中心とした取り組みを図る。

事業の成果

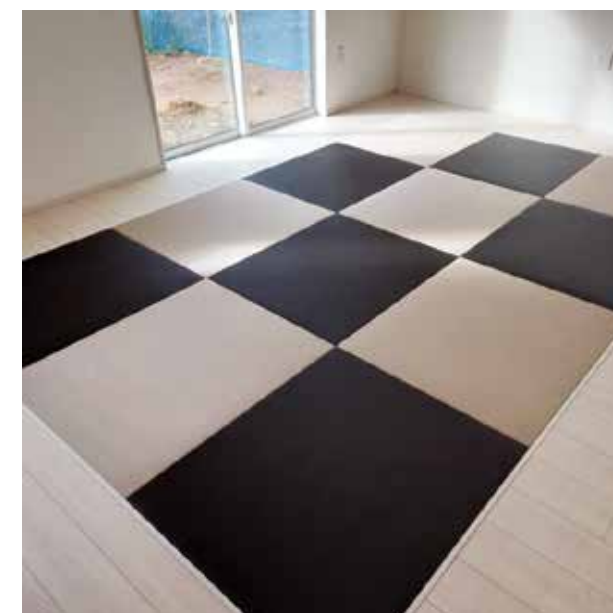
従来、当社の畳の製造方法は縫着方式のみであったが、縫着不要な熱圧着方式の導入により、高品質かつ低価格な多用途薄型置き畳の量産化が可能となった。現在、国産イ草を用いた薄型置き畳（半畳）の単品販売および（半畳4枚1セット）の製造販売を行っている。

事業の現在の状況

住宅建築業者と通じた薄型置き畳の販売は堅調に推移しているものの、エンドユーザーへの販売が伸び悩んでおり、目標売上に達していない状況にある。今後は、新素材を用いた多用途置き畳のバリエーション追加や自社ホームページ刷新により、エンドユーザーを中心に販路開拓を図っていく方針である。



畳用ホットプレス機/POWER



薄畳敷き込み現場

[得意分野]

畳製造 有職畳 薄畳

[主要取引先]

住宅建築業者

[商品]

天然イ草表、ダイケン和紙畳、セキスイ表、薄畳、暖房畳、抗ウイルス表

[代表者からの一言]

現在のライフスタイルはフローリングが多くなってきました。

しかし、日本人の私たちにとって畳はくつろげる場所であり足を伸ばせる空間であります。

弊社ではフローリングにも敷き込める薄畳をこれから力を入れていきたいと考えています。



代表取締役社長 得能 敏昭